

エシタロプラム錠「JG」

服用される患者さまとご家族の方へ

服用前の注意点

次のような方は、このお薬を服用することができません。
服用する前に必ず医師にご相談ください。

- 以前にエシタロプラムシュウ酸塩を服用して、アレルギーなどの過敏症が出たことがある方。
- セレギリン塩酸塩、ラサギリンメシル酸塩、サフィナミドメシル酸塩を服用中あるいは服用中止後14日間以内の方。
- ピモジドを服用中の方。
- QT延長のある方（先天性QT延長症候群など）。
現在、心臓の病気（不整脈、狭心症、心筋梗塞、心不全）の治療を受けていたり、今まで心電図検査で何らかの指摘を受けたことがある方は、QT延長を起こす可能性がありますので、医師にお伝えください。

※他のお薬を服用している場合や、新たに服用する場合は、
医師にご相談ください。

※6～11歳のうつ病の方がこのお薬を飲んだ場合、有効性が確認できなかったという報告があるため、12歳未満の方は
医師と十分にご相談ください。

主な副作用

次のような症状があらわれた場合は、
医師や薬剤師にご相談ください。

- ・悪心 ・眠気 ・頭痛 ・口の渇き ・めまい ・倦怠感
- ・下痢 ・腹部不快感 など

また、射精障害、射精遅延、性的な関心や性欲の低下などの
症状を自覚された場合。

（裏面もお読みください）

服用中の注意点

●飲み忘れないよう、毎日夕食後にきちんと飲みましょう。

飲み忘れても、一度に2回分を飲まないでください。間違えて多く飲みすぎてしまった場合は、医師にご連絡ください。

●定期的に診察を受けましょう。

治療中は、お薬の効果の確認や副作用を早く見つけるためにも、定期的に診察を受けてください。

●「治った」と感じてても、飲み続けましょう。

症状が少しずつよくなると、「治った」「回復した」と感じる時があります。このような場合でも、自分の判断でお薬の服用をやめたり、量を減らしたりすると、些細なことでも心配になる、いらいら、あせりなどの症状があらわれることがあります。医師と相談しながら指示どおりに飲み続けてください。

●次のような症状があらわれた場合は、すぐに医師や薬剤師に相談しましょう。

- ・不安感が強くなり死にたいと思うなどの症状があらわれた場合。

特に飲み始めや飲む量を変更したときに、このような症状があらわれることがあります。

- ・敵意を持つ、攻撃的になるなどの症状があらわれた場合。

この薬との関連性は明らかではありませんが、敵意を持つ、攻撃的になる、衝動的に行動する、じっとしていることができないなどの症状があらわれることがあります。

●ご家族の方は、患者さまの状態を観察し、変化が見られた場合は医師や薬剤師に相談しましょう。

ご家族の方は、患者さまの状態が上記のように変化する可能性について、医師から十分に説明を受け、患者さまをよく観察してください。また、患者さまご自身も症状に変化があったと感じた場合には、ご家族に伝えるようにしてください。

自己判断で服用中止・減薬はせず、必ず医師に相談し、医師の指示に従ってください。急な服用中止は、副作用や不安症状の悪化につながる可能性があります。

気になることがありましたら、医師または薬剤師にご相談ください。